

Ⅲ 決算収支の状況

1. 実質収支の状況

歳入歳出差引額（形式収支）は、151億9,716万円の黒字であり、これから翌年度に繰り越すべき財源27億3,293万円を控除した実質収支は、124億6,424万円の黒字である。

実質収支の標準財政規模（標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税に臨時財政対策債発行可能額を加えた額）に対する割合である実質収支比率は3.3%であり、前年度（3.9%）と比べて0.6ポイント減少となっている。

なお、実質収支が赤字の団体は0団体となっている。

第2表 決算収支の状況

（単位：千円、%（「増減」はポイント））

区 分	29年度 歳入歳出差引額 (形式収支)	実 質 収 支					
		29年度		28年度		増 減	
		収 支 額	比 率	収 支 額	比 率	収 支 額	比 率
市 計	10,170,696	7,873,200	3.1	9,719,966	3.8	△1,846,766	△0.7
町 村 計	5,026,465	4,591,035	3.9	5,010,348	4.2	△419,313	△0.3
市 町 村 計	15,197,161	12,464,235	3.3	14,730,314	3.9	△2,266,079	△0.6

※ 実質収支比率は加重平均

2. 単年度収支の状況

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度の1,656万円の赤字から22億6,608万円の赤字となった。また、単年度収支が赤字の団体は全体の62.5%の25団体（前年度25団体）となった。

3. 実質単年度収支の状況

単年度収支に、実質的な黒字要素である財政調整基金積立額（33億1,000万円）及び地方債繰上償還額（10億,5,381万円）を加えた額から、実質的な赤字要素である財政調整基金取崩額（145億9,577万円）を差し引いた実質単年度収支は、前年度の5億4,204万円の赤字から124億9,804万円の赤字となった。また、実質単年度収支が赤字の団体は全体の80.0%の32団体（前年度23団体）となった。

第3表 赤字の団体数の状況

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実 質 収 支	市 計	0	0	0	0	0
	町 村 計	0	0	0	0	0
	市 町 村 計	0	0	0	0	0
単 年 度 収 支	市 計	3	7	0	5	7
	町 村 計	16	14	8	20	18
	市 町 村 計	19	21	8	25	25
実 質 単 年 度 収 支	市 計	6	6	2	5	9
	町 村 計	10	13	3	18	23
	市 町 村 計	16	19	5	23	32